

扶桑町地域包括支援センターコラム

認知症についてご存知ですか？早期発見が大切です。



認知症は脳の病気です。加齢による物忘れは体験や出来事の一部を忘れたり、物忘れの自覚がありますが、認知症は体験そのものを忘れたり、物忘れに自覚がないため、日常生活に支障が出てきます。認知症にはタイプがありますが、どの認知症にも共通することは、「早めの相談、受診」が大切ということです。早期発見のメリットとして、

- ①治療で改善が期待できる
- ②今の状態を維持できる
- ③事前に認知症に向き合う準備ができる

という3つがあります。認知症にならないようにするためには予防が大切です。

地域包括支援センターでは認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)の疑いがあるかを検査できます。ご興味がある方は地域包括支援センターまでお問い合わせください。

▼問い合わせ 扶桑町地域包括支援センター（扶桑町総合福祉センター1F）
☎（91）1171（月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分）

丹羽消防署

119番

◆ 新たな生活のスタート！この機会に防火防災対策を

4月は入社や転勤、入学などで引越しの多い時期です。

●職場などで

新たな職場などで、消火器などの消防用設備等の状況や、避難経路などを確認しておきましょう。事業所は、消防計画を基に「防火・防災教育」を実施することが重要な時期です。

●住まいで

引っ越しなどで新居を構える方、部屋の大きな模様替えをする方も多いのではないのでしょうか。この機会に、家具などの転倒防止策をしましょう。

▼家具などの転倒防止策
(つっぱり棒やL字金具)



▼出入口・寝室では家具の配置に注意！



いざという時、避難の妨げにならないよう家具の配置や方向にも注意が必要です。また、寝室では背の低い家具を置くか家具の置き方を工夫し、寝ている方向へ倒れてこないよう配置します。

▼問い合わせ 丹羽広域事務組合 消防本部 予防課 ☎（95）5158

◆ 平成30年救急統計

昨年、丹羽消防署では2,501件の救急車の出場があり、2,382人の傷病者が病院に搬送されました。出場した主な種別としては、急病（体調不良や心不全など）が1,706件で全体の約70%を占めています。続いて一般負傷（ケガや骨折など）が396件、交通事故が242件となっています。

救急件数は、平成28年が2,185件、平成29年が2,325件と年々増加傾向にあります。救急車は、緊急に処置を必要とする方を病院へ運ぶためのものです。緊急性があると判断した場合は、すぐに119番通報しましょう。また、必要な人が必要な時に使うことができるよう、適正利用にご協力をお願いします。

▼救急に関する問い合わせ 丹羽消防署 ☎（95）5151